

平成 28 年度 全日本学生柔道優勝大会(男子 65 回 女子 25 回) 大会要項

2月9日現在

- 1、大会名 平成 28 年度 全日本学生柔道優勝大会(男子 65 回 女子 25 回)
- 2、主催 (一社)全日本学生柔道連盟・毎日新聞社
- 3、主管 東京学生柔道連盟
- 4、後援 文部科学省、東京都、(公財)日本武道館、(公財)講道館、(公財)全日本柔道連盟、(公財)東京都柔道連盟
- 5、期間 平成 28 年 6 月 25 日(土) 女子 3 人制、女子 5 人制、男子 1 回戦
開 場：午前 8 時 00 分 開会式(男女同時開催)：午前 9 時 00 分 試合開始：午前 9 時 30 分
平成 28 年 6 月 26 日(日) 男子 2 回戦～決勝戦
開場：午前 8 時 00 分 試合開始：午前 9 時 00 分
- 6、会場 日本武道館 東京都千代田区北の丸公園 2-3
- 7、競技規則 (1) 参加資格

- ①(一社)全日本学生柔道連盟の法人正会員たる柔道部の在籍者であり、かつ、(公財)全日本柔道連盟に登録した者。
- ②国公立大学又は短期大学などに在籍の学生。
- ③各地区学生柔道連盟から推薦された大学。
- ④在学中、実業団その他の職域チームに属している者は、その大会(試合)に出場していない者。
- ⑤本大会への選手登録回数が 4 回以下の者(但し医学部、歯学部、薬学部、獣医学部の学生は 6 回以下の者)
- ⑥2 年生においては 1 年次の修得単位数が 20 単位以上の者。但し、特例措置対象者を除く。(詳細は別紙)

(2) チーム編成

- ①男子：各大学 1 チームとし、部長、監督、コーチ、主務各 1 名と、選手 12 名の計 16 名以内とする。
- ②女子：各大学 1 チームとし、5 人制は部長、監督、コーチ、主務各 1 名と選手 57 kg 以下 3 名、70 kg 以下 3 名 [57 kg 以下申込可]、無差別 2 名の計 12 名以内とする。
3 人制は部長、監督、コーチ、主務各 1 名と選手 6 名の計 10 名以内とする。

(3) コーチ資格

全柔連公認指導者資格制度の導入に伴い、試合中に選手席へ立ち入る部長・監督・コーチのいずれかの者は、全柔連公認指導者資格の A 指導員もしくは B 指導員資格を有していなければならない。

(4) 試合方法

- ①男子：試合は各チーム 7 名の点取り式によるトーナメント戦とし、各試合の選手配列は自由とする。
- ②女子 5 人制：5 名の点取り式によるトーナメント戦とし、各試合の選手の配列については、先鋒・次鋒は体重 57 kg 以下、中堅・副将は 70 kg 以下、大将は無差別とする。
- ③女子 3 人制：3 名の点取り式によるトーナメント戦とし、体重無差別、各試合の選手配列は自由とする。
- ④1 回戦のオーダーは、男女ともに午前 8 時 20 分までにオーダー受付まで提出すること。
また、男子 2 回戦のオーダーは 2 日目の午前 8 時 20 分までに提出すること。女子 2 回戦、男子 3 回戦以降は、対戦大学決定後 5 分以内に提出すること。未提出により 5 分が経過した後は、自動的に前回戦のオーダーのとおりとなる。

(5) 審判規定

- ①国際柔道連盟試合審判規定を準用する。(2014 - 2016)
- ②判定基準は、「有効」以上とする。
- ③試合時間は、男子 5 分、女子 4 分とし、チーム間の勝敗の決定は、勝者の多いほうを勝ちとし、勝者同数の場合は内容差で決定する。全て同一の場合は次のとおりとする。
 - ・男子並びに女子 3 人制：代表者 1 名を自由選出して代表戦を行う。
(代表戦の判定基準は個人戦に準ずるものとする)
また、延長戦の場合は、ゴールデンスコア方式にて勝敗を決定する。ただし両者失格等で勝敗がつかなかった場合は、他の選手の中から自由選出して再試合を行い、勝敗を決定する。
※下半身への積極的な攻撃または、相手の技に対応しての攻撃については反則負け(内股など→すくい投げ)とする。しかし、下半身をつかむ行為においても、相手の技に対応した防御と判断される場合は、『指導』とする。さらに、強引に引きつけられて、下半身をつかんだ行為等に対してはの反則(『指導』)とする。
 - ・女子 5 人制：引き分けた階級の中から 1 組を抽選しゴールデンスコア方式にて代表戦を行い、勝敗を決定する。ただし両者失格等で勝敗がつかなかった場合は他の選手の中から再抽選し、ゴールデンスコア方式にて試合を行い勝敗を決定する。
なお、引き分けの階級がない場合においては、両者反則負け等で勝敗が決まらない階級の中から、1 組を抽選しゴールデンスコア方式にて、勝敗を決定する。

- (6) 柔道衣 (公財)全日本柔道連盟柔道衣規定に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。
(2015年決定事項に従う。詳細は全日本学生柔道連盟ホームページ参照のこと。なお、柔道衣の規格については、厳守しなければならない。)
※今年度より、青柔道衣を採用する。また女子の帯は白線なしの黒帯とする。(別紙参照)
- (7) ゼッケン 出場選手は必ず所定のゼッケンを柔道衣につけること。(別紙参照)

8、各地区出場枠

《男子》 参加大学は62大学とし、各地区の出場枠数は次の通りとする。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
4	4	4	10	18	4	8	4	6	62

《女子》 各地区の出場大学数は次の通りとする。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
4	4	4	12	13	5	8	6	6	62+2

※上記の各地区出場大学数は5人制、3人制のトータル数とし、どちらに出場するかは各地区学生柔道連盟にて決定する。
※但し、5人制、3人制ともに前年度優勝大学は主催者推薦とし、各地区出場枠外とする。

9、選手計量

女子5人制出場大学の先鋒・次鋒・中堅・副将の出場者は、試合前日に計量を行う。

場所：講道館新館第4会議室

日時：平成28年6月24日(金) 予備計量 午後3時30分～4時00分 本計量 午後4時00分～4時30分

10、表彰

《男子》 (1)優勝大学、準優勝大学、第3位大学(2大学)、並びにベスト8大学を表彰する。
(2)優勝大学には文部科学大臣賞並びに日本武道館賞を授与する。
(3)技術優秀なる者10名に優秀選手賞を授与する。

《女子》 (1)5人制・3人制ともに、優勝大学、準優勝大学、第3位大学(2大学)を表彰する。

(2)5人制・3人制ともに、技術優秀なる者4名に優秀選手賞を授与する。

11、優秀選手選考委員

優秀選手選考委員は各地区の学生柔道連盟より1名選出することとする。(原則として(一社)全日本学生柔道連盟理事)

12、審判員

審判員数の総数は66名とし、各地区の学生柔道連盟は下記の人数の審判員を帯同することとする。

【(公財)全日本柔道連盟派遣審判員6名以内(審判長含む)、東京23名、関東13名、関西10名、東海4名、北信越3名
北海道・東北・中国四国・九州は各2名】

13、参加申込

(1)申込先 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内 東京学生柔道連盟
TEL 03-3213-7106 FAX 03-3287-3282

(2)申込方法 参加申込責任者は各大学監督とし、WEBにて申し込みを行い、各地区学生柔道連盟は、下記の書類をまとめて主管事務局へ郵送する。(P.17を参照)

①参加選手の在学証明書・健康診断書(地区予選に登録されなかった選手のみ)

※ただし今年度においては、2年生のみ在学証明書の提出はしなくてもよい。

②プログラム掲載用写真(詳細は別紙)

③IDカード(詳細は別紙)

(3)申込期間 WEB申込期間 平成28年5月30日(月)～6月1日(水)
書類郵送期日 平成28年6月6日(月)午後5時必着

(4)参加費 男子ー1大学30,000円 女子ー5人制出場大学：1大学20,000円 3人制出場大学：1大学15,000円

※各地区学生柔道連盟がその地区からの参加費を取りまとめて、6月1日(水)正午までに下記口座へ振り込むこと。
振り込みが確認できない場合は本大会の参加は認めない。

参加費は各地区連盟の指定先へ振り込むこと。

《振込先》三井住友銀行 小石川支店(813)普通 428679 (一社)全日本学生柔道連盟 会長 佐藤 宣践

(5)選手変更 女子5人制においては、6月16日(木)午後5時までに、必要な書類を添えて、主管事務局まで提出した者は変更を認める。ただし階級間の移動は認めない。

※必要書類とは、変更用紙、変更前選手の辞退理由書(怪我・病気の場合は診断書も添付)と変更選手の在学証明書、健康診断書、IDカード用写真をいう。

14、組み合わせ

本大会組み合わせ抽選会は、(一社)全日本学生柔道連盟役員立ち合いのもと、東京学生柔道連盟により行う。

日時：平成28年6月11日(土) 時間：午前10時00分～

会場：講道館新館2階教室 シード校：シード基準は別紙による

15、審判員会議

日時：平成28年6月24日(金) 時間：午後4時00分～ 会場：講道館新館 2階教室

16、審判員集合

日時：平成28年6月25日(土) 時間：午前8時30分

17、監督会議

日時：平成28年6月24日(金) 時間：午後5時30分～ 会場：講道館新館 2階教室

※ 監督会議では、大会上の注意事項についての伝達や、IDカード、プログラム等の配布を行うので、申込時に登録した部長、監督、コーチのいずれか1名が出席すること。

出席できない場合には、委任状(P.32)を提出する。(学生には委任できない。)

なお、無断欠席した場合には、大会への出場が認められないことがあるので注意すること。また参加人数は各校1名とする。

18、安全対策

本大会主催者は、大会出場選手に対する傷害保険に必ず加入するとともに、救急指定病院の手配を行う。また、試合場に医師を配置し応急処置を施すが、それ以上の責任は負わない。

なお、大会当日、出場選手は、必ず保険証(コピー不可)を持参すること。

19、練習会場

講道館にて6月24日(金)午後1時~4時、25日(土)午前10時~午後4時までの間練習を行うことができる。

その際、別紙所定の用紙にて、6月6日(月)午後5時までに主管事務局(東京学生柔道連盟)へ申し込むこと。

※事前に申し込みのない大学の選手は練習場を利用できない。

20、大会事務局

主催事務局 〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 講道館内 (一社)全日本学生柔道連盟

TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960

主管事務局 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2-3 日本武道館内 東京学生柔道連盟

TEL 03-3213-7106 FAX 03-3287-3282

※質問・問い合わせ等は、すべて主管事務局(東京学生柔道連盟)に行うこと。

21、その他

1. 《皮膚真菌症について》

皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。

感染が疑わしい、もしくは感染が認められた選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。

選手に皮膚真菌症の感染が認められた場合は、大会への出場を禁止する。

(ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める。)

2. 《計量について》原則として、採用試験において正規の公式計量の時刻に間に合わない場合、6月22日(水)までに主管事務局まで必要書類を提出すること。なお、上記により所定の書類を期日までに提出した者のみ、計量時間の延長(1時間)を認める。

※必要書類とは、採用試験を実施する機関からの通知文のコピーをいう。

3. 《個人情報取り扱いについて》

(1)webでの申込に記載された個人情報、大会中に撮影された写真、または動画が、大会プログラム、大会ホームページ等に掲載される場合があります。また、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります。

(2)提出された個人情報については、上記の利用目的以外に使用することはありません。

(3)webでの申込により、上記(1)(2)の取り扱いに関する承諾を得たものとして対応をさせていただきます。

※個人情報取り扱いについて、不明な点等がある場合は、(一社)全日本学生柔道連盟事務局にお問い合わせください。